



■昭和55年8月26日第三種郵便物認可 ■平成18年11月10日発行(毎月1回10日発行)

函館商工会議所報

# と も え

2006

11

No.290

函 館 停 車 場



## CONTENTS

**巻頭特集** 大門横丁オープン1周年  
湯の川温泉泊覧会開催

◆新規開業者利子補給制度ご案内 P 8

◆各種講習会・セミナーご案内 P10

函館商工会議所ホームページ

<http://www.hakodate.cci.or.jp/>

※12月号は休刊となります。1月に新年号(12月・1月合併号)として皆様に送付いたします。



おかげさまで **50**年  
これからも いつまでも



**マイカーローン**

**住宅ローン**



『サポート **50**』



H18年7月3日～12月29日まで

5年固定  
最優遇

**1.5%**

※保証料別

3年固定

**1.2%**

商品内容	マイカーローン	住宅ローン
名称	『マイカーローン サポート50』	『住宅ローン サポート50』
貸出利率	1.2%   1.8%(最優遇1.5%)	1.2%
貸出限度額	500万円以内	5,000万円以内
貸出条件	3年以内(固定)   5年以内(固定)	30年以内(当初3年固定)
募集額	2億円	5億円
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・募集期間に関らず募集金額に達し次第販売を終了します。</li> <li>・お申込に際しましては、当組合及び保証会社の審査があります。</li> <li>・審査の結果によっては、ご希望に添えないこともありますのでご了承下さい。</li> <li>・保証料は別途申し受けます。(※マイカーローンは1.5%、住宅ローンはお客様によって異なる場合がありますのでお気軽にお問い合わせ下さい。)</li> <li>・商品についての詳細は、店頭に設置してあります。「商品概要説明書」をご覧ください。</li> </ul>	

本店営業所 ☎23-2101 湯川支店 ☎57-0572  
 北斗支店 ☎73-2308 美原支店 ☎46-9121  
 十字街支店 ☎26-5544 花園支店 ☎55-2110  
 富岡支店 ☎43-1311

※詳しくは、お近くの本支店へお気軽にお問い合わせ下さい

 **函館商工信用組合**

# ともえ

11月号  
(通巻290号)

## 特集

2 大門横丁1周年、  
湯の川温泉泊覧会開催

## 会議所の動き

7 韓国観光客誘致訪問団トップセールス  
部会・委員会報告  
経営安定セミナー開催  
シーニックバイウェイ候補ルート視察  
議員会・女性会・青年部活動

## 中小企業相談所だより

9 新規開業者利子補給制度ご案内  
マル経資金制度ご案内  
各種専門相談ご案内

## 11月・12月スケジュール・おしらせ

11 各種講習会・セミナーご案内

## ご案内

12 新入会員ご紹介  
会員異動のお知らせ

## 街の元気・情報交差点

13 2006はこだてクリスマスファンタジー日程

## 事業紹介

14 パソコン講座ご案内

## コンベンション情報

15 観光コンベンション情報

## 函館こぼれ話

16 国道5号の今昔、前身は札幌本道、  
全長226キロメートル

## ◆今月の表紙「函館駅」

写真は、昭和初期頃の函館駅の写真です。

函館駅が現在の若松町に開設されたのが明治37年で、それまでは当時の市民の反対により海岸町にあったそうです。

開設後は、明治37年函館～小樽間が全通するなどし、昭和36年には、函館～旭川を結ぶ北海道初の特急列車「おおぞら」が運行開始しました。

(函館市中央図書館所蔵)



## 視点

日本商工会議所と本所主催による「全国商工会議所観光振興大会2006inはこだて」が10月12、13日の両日開催された。

商工会議所観光振興大会は、商工会議所会員の観光に対する意識改革と普及啓発を図ることで、地域の街づくり運動を活発に行うことを目的としている。

第1回大会は栃木県宇都宮市、第2回は岡山県倉敷市で開催された。

第3回本市での開催誘致にあたっては、本所高野会頭の強い意向があり、函館市、函館国際観光コンベンション協会等との連携を図りながら議論を重ね「体験・滞在型観光の振興と移住の促進」を開催テーマとした最終案をとりまとめ日本商工会議所へ提出した。本市以外にも全国各地域から立候補があったが、地域をあげての熱心な誘致活動が評価され、第3回開催地は本市に決定された。

本所では、本大会に向け函館市、函館国際観光コンベンション協会、関係機関や本所議員、女性会、青年部等の協力を得て実行委員会並びに幹事会を設置し、手づくりの大会を目指し準備を進めてきた。

大会には、全国45都道府県の166商工会議所、連合会から会員や観光関係者等1,200名を超える参加があり、参加者の総意として地域総合経済団体である商工会議所が「地域の、地域による、地域のための観光地づくり」を推進することを誓い、

- (1) 地域資源の再発見・再評価・積極的活用に取り組む
- (2) まち全体が「観光するところ」、「おもてなしのこころ」を持つ
- (3) 「行政間、官民等の連携を推進する」

ことを宣言し、「函館アピール」として採択した。

今回の大会が、天候にも恵まれ、参加者から好評を博し成功裡に終了したことは北海道を代表する観光地である函館を全国の商工会議所関係者等に知っていただく絶好の機会となった。

ご協力・ご支援いただきました関係者の皆様に心からお礼申し上げます。

特集

【多くの人々で賑わう ひかりの屋台 大門横丁】

# 大門横丁オープン1周年



▲1周年を記念した鏡開き



## ★年間イベントスケジュール(予定)

【3月】

・歓送迎会フェア

【4月】

・お花見フェア

【5月】

・ゴールデンウィークイベント

【6月】

・アスパラフェア

【7月】

・七夕イベント

【8月】

・暑中お見舞いビール祭り

【9月】

・秋の豊漁・収穫祭フェア

【10月】

・開業記念イベント

【11月】

・ボジョレヌーヴォ解禁フェア

【12月】

・クリスマスイベント

・大晦日カウントダウン

【1月】

・新年イベント

・新成人お祝いフェア

【2月】

・節分イベント

・バレンタインフェア

当市はこれまで、函館駅前・大門地区の活性化に向け、さまざまな動きが行われてきました。

JR函館新駅舎の建設や駅前広場の再整備、はこだてグリーンプラザの再整備、ホテルの新設、ブティック・ショップの新規出店などが相次ぐなど駅前周辺は賑わいを見せはじめています。

こうした街の動きをさらに強力にするため、昨年10月23日、函館ひかりの屋台「大門横丁」がオープンしました。

先月には、オープン1周年を記念したイベントが連夜行われるなど、多くの市民・観光客で賑わいをみせました。

これからの季節、ぜひ冷えた体を大門横丁で暖め、各店自慢の手料理を召し上がってみてはいかがでしょうか。



▲1周年を記念した振る舞い酒に集う人々



▲マグロの解体ショー



▲各店で飲食を楽しむ来場者



▲キャンペーン期間中に行われたストリートライブ

※その他、毎月15日は横丁バル(はしご酒の日)、毎週/金・土・日曜日はハッピータイム

問い合わせ先/はこだてティーエムオー

TEL:0138-24-0033 FAX:0138-24-0022 www.hakodate-yatai.com



# はこだて湯の川温泉泊覧会 「オンパク」開催

## ■テーマ【温・故・知・新】

「温泉を楽しむ」「古きを楽しむ」「知るを楽しむ」「新しきを楽しむ」

去る10月21日(土)～11月5日(日)の日程で函館・湯の川地区を中心として、函館湯の川温泉旅館協同組合が主幹事となったイベントはこだて湯の川温泉泊覧会「オンパク」が開催されました。

今回、当市で新しいスタイルのイベントとして成功裡に終了したオンパクは、大分県別府市が発祥の地となっており、集客交流事業として5年前から開催し、現在では地域の活性化等のみならず、新しい体験型観光として地域事業の再生にも大きく貢献しているそうです。

そういった成功事例を参考にしながら、このイベントを函館・湯の川でも実施したいという思いから湯の川の旅館、ホテル関係者の協力を得ながら、観光客だけではなく、市民に気軽に温泉施設を利用し楽しんでもらうことを目指した様々なイベントが計画されました。

開催期間中は、美容・健康系のサービス、音楽会、各種教室、街歩きなどといったプログラム54種類が行われ、16日間で約2,000人の参加者が集いました。

今後は、年2回の定期開催を目指し、将来的に湯の川地区のみならず、函館全体の活性化へ繋がるイベントとなることを目指いくと実行委員会は意欲的です。



▲湯の川温泉卓球大会（湯の川観光ホテル）



▲香雪園の園亭で演奏された森氏によるチェンバロ



▲歴史・自然を楽しむ香雪園散策



▲湯の浜ホテルで開かれた女声アカペラ「アンサンブルモジェ」



▲湯の川散策ツアーでだされた和菓子

問い合わせ先：はこだて湯の川オンパク実行委員会（函館湯の川温泉旅館協同組合内）TEL0138-57-8988  
メールアドレス：<http://hakodate.onpaku.com>

# 会議所の うごき

## 韓国観光客誘致訪問団が トップセールス

井上市長、高野会頭をはじめとする韓国観光客誘致訪問団16名が去る10月26日～29日の日程で大韓航空、東亜日報、民放TV局等を訪問し意見交換会等を行ってきました。

今回の訪問は、6月1日より大韓航空による当市と韓国を結ぶ国際定期便がすでに就航開始していますが、今後さらに多くの韓国人観光客に当市を訪れてもらうことを目標とし、併せて定期便の搭乗率アップを目指しての当市観光トップセールスとなりました。

訪問中は、韓国紙朝刊に函館広告特集として約10万部を折り込む等、また、若者でにぎわう明洞では、街頭宣伝として、函館から持ち込んだ「バターキャンデー」、「さきいか」を配布するなどしました。

なお、当市観光のPRについては、今後も継続的に実施していくこととなっています。



## 部会・委員会報告

### 工業部会幹事会開催



▲開会挨拶をする堀川部会長

工業部会幹事会（森川担当副会頭、堀川部会長、井村副部会長ほか13名出席）が去る10月19日、本所会議室において開催されました。

当日は、現在、他の部会で協議等が行われている函館を取り巻く諸問題について事務局から説明を行ったのち、活発な意見交換が行われました。

そのあと、当部会として今後協議を行う方向性の確認が行われ、従来より進めている多目的ホール建設の必要性を中心に、今後も議論を深めていくとともに、視察研修等も考慮に入れながら進めていくことを確認し終了しました。

## 運輸支局が本所へ要望

去る10月16日、北海道運輸局函館運輸支局の本間支局長が本所を訪れ要望書を提出しました。

今回の要望は、現在原油価格の高騰により経営が圧迫されている運送業界の現状を、本所会員企業へ対しても広く周知してほしい旨の説明のあと、同支局長より森川副会頭へ要望書が手わたされました。



▲要望書を受けとる森川副会頭(左)、本間支局長(右)

## 経営革新セミナー開催

函館地域中小企業支援センター（本所に設置）主催による経営革新セミナーが、去る10月30日本所において開催され、約20名が参加しました。

当日は、「2007年問題をビジネスチャンスに変える」をテーマに、元日本政策投資銀行主任研究員の野口秀行氏を講師に迎え、少子高齢化での新たなビジネスモデルや、知的資産を戦略的に企業価値に結びつける「知的資産経営」の重要性などについての講話がなされ、参加者は熱心に耳を傾けていました。



▲これからのビジネスについて講話を行う野口氏

## シーニックバイウエイルート候補視察



◀意外と知られていない絶景の日浦灯台（恵山）

本所並びに本所青年部等が参加して推進するシーニックバイウエイ北海道「函館・大沼・噴火湾ルート」運営代表者会議では、周遊性の高い観光ルートの創出を目指して、渡島半島の道路を舞台としたシーニックバイウエイ制度を推進しています。

この一環として、ルート内の観光ポイントを視察・検証するため、昨年4月に引き続き第2回目のルート内視察バスツアーが去る10月22日に実施されました。

当日は各参加組織から30数名が参加し、案内役のNPO法人どうなん「学び」サポートセンターの奥平理事より、詳細な解説をいただきながら、各ポイントを検証していきました。

また今回は特にルート内の「灯台」に着目するなど、通常とは少し違った視点での視察ツアーとなりました。

平成18年秋の叙勲にて  
本所常議員の松本 栄一氏が  
黄綬褒章を受賞いたしました。  
誠におめでとうございます。

# 会議所のうごき

## 第2回振興委員連絡会議

第2回振興委員連絡会議が去る10月27日、本所会議室において開催されました。振興委員制度は、本所が行う小規模企業の経営改善普及事業を円滑に推進する



▲経営戦略について講話を行う小島支店長

ため、各業界と本所とのパイプ役として国等の中小企業対策における諸施策の普及事業に協力をいただくため、各業界より30名の方々を委嘱しています。

連絡会議は、情報交換等を通じて、本制度のより効果的な運営を図っていくため定期的に開催しているもので、当日の会議では、平成18年度上半期の本所融資斡旋状況報告や10月1日に開始となった新規開業者利子補給制度の説明、さらには経営改善普及事業の今後における予定等の事務連絡に続き、国民生活金融公庫函館支店の小島支店長を講師に招き、『感動創造経営』をテーマに各業種における具体的な成功事例を交え、顧客の心をつかむ経営戦略について講演がなされました。

## 新規高等学校卒業生の採用にかかるお願い

謹啓 秋涼の候、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より、行政運営に加え、多岐にわたり格別のお力添えを賜り厚く御礼申し上げます。

さて 当所管内の雇用失業情勢は住宅投資の増加や個人消費の一部に持ち直しの動きが見られるものの、公共投資の減少と設備投資の低迷から依然として厳しい状況にあります。

このような中、来春の新規高等学校卒業予定者をめぐる就職環境も就職希望者1,357名に対し、8月末現在の管内求人数は324名分と、完全就職を目指すにはほど遠い状況となっており、多くの生徒が未内定のまま卒業するという事態が生じるばかりではなく、求人申込み時期の遅れが優秀な人材の地元離れを誘発するなど将来にわたり地域経済・社会にとりまして大きな損失を招くことが心配されます。

卒業をひかえた高校生は、懸命に就職活動に励んでいるところであり私どもとしましても、すべての生徒がその念願を果たすことを願うところであります。

一人でも多くの若者が地域で活躍することができるようにするため傘下企業に向け、貴台より新規高等学校卒業生の雇入れについて今一度の周知・指導等格別の御協力をお願い申し上げます。

末筆になりましたが、貴団体の益々のご発展を心からご祈念申し上げます。

会員企業の皆様、ご協力賜りますようよろしくお願いいたします。

謹言

平成18年10月

各位

函館公共職業安定所長

北海道渡島支庁長

北海道檜山支庁長

北海道教育庁渡島教育局長

北海道教育庁檜山教育局長

石塚 洋己

成田 一憲

武内 良雄

忠嶋 隆

深澤 宗明

函館市長

北斗市長

渡島町村会長

檜山支庁管内町村会長

北海道高等学校長協会渡島支部長

北海道高等学校長協会檜山支部長

井上 博司

海老澤順三

湊 美喜夫

寺島光一郎

古林 由則

渡部 泰夫



# ★議員会・女性会・青年部活動

## ★議員会



▲天候にも恵まれ爽やかにプレーした参加者

議員会（池見会長）主催による親睦ゴルフコンペ並びに議員懇話会が去る10月20日、函館ゴルフ倶楽部、函館国際ホテルにおいて開催されました。

当日は好天にも恵まれ、15名がゴルフで懇親を深めたほか、懇話会では25名が参加し、北海道税理士会函館支部より川田博仁氏を講師として招き「新会社法について」と題し、一人会社の役員給与の損金算入規制等について講話を受けました。



▲会社法について講話を行う川田氏

## ★青年部活動

### ■第7回正副会長会議並びに役員会

第7回正副会長会議並びに役員会が去る10月6日、ホテル函館ロイヤルにおいて開催されました。

当日は、報告事項として各委員会活動や各諸会議への参加報告が行われました。

そのあと、協議事項として来たる9月1日～10月15

日の期間経済情報委員会主管で行われたパコスマの活動報告を兼ねての11月定例会についてや、10月21日に当市で行われる道央・道南協議会連絡会議さらにはシーニックバイウェイ噴火湾ルートバスツアー等について協議しました。

また、事務局より来たる10月12日、13日に開催される全国商工会議所観光振興大会inはこだてについての役割分担などについての説明も行われました。

### ■道央・道南協議会連絡会議開催



▲19名が参加して行われた道央・道南協議会連絡会議

去る10月21日、クイーンズポートはこだてにおいて19名が出席し開催されました。

当日は、報告・連絡事項として各青年部が取り組んでいる活動報告や今年度の事業報告等が行われました。

また、平成20年度に開催されるブロック大会の開催地について協議し、岩見沢市で行われることが決定しました。

そのほか、登別YEGが取り組んでいる「地域ブランド」についての事業説明が行われました。

当会終了後には、別会場に移しての懇親会が行われ、しばし和やかな雰囲気の中盛會裡に終了しました。



▲開催地挨拶をする折谷会長



▲事業報告をする成沢副会長

# 中小企業相談所 だより

金融	経営改善	税務
労務	法務	新規創業
取引照会	情報化	環境対策

どんな事でもお気軽に！各種お申込・  
お問い合わせはTEL0138-23-1181へ。

10月1日よりスタート!

創業をお考えの方

開業間もない方

## 函館商工会議所 新規開業者利子補給制度

をご活用下さい。

国民生活金融公庫函館支店の、新規開業者を対象とする融資の  
利子1%分を補助します。

### ◆補助対象者

本所においてあらかじめ経営指導を受け、必要な手続きをした上で、国民生活金融公庫函館支店より新規開業者向け融資を受けた方で、次の何れかに該当する方

- (1) 函館市内において、2ヵ月以内に新たに事業を開始する予定の個人、もしくは法人を設立して事業を開始する予定の個人。
- (2) 函館市内において、すでに事業を開始している個人または法人で、事業開始後2年未満のもの。  
※「2ヵ月以内」及び「2年未満」は、貸付年月日を基準として、算出します。

### ◆補助対象額

借入額のうち、1,000万円以下までに係る支払利子額の利率1%に相当する部分  
※利子補給金は年度末(3月)締めにて計算され、お支払いは年1回です。

### ◆当制度取扱期間

平成20年3月31日まで

### ◆利子補給期間

貸付年月日から3年間

注1) 事業の廃止・休止、市外へ転出の場合は、当該日以降は補助対象期間となりません。

注2) 当制度の申込みの有無は、国民生活金融公庫の貸出審査に影響を与えるものではありません。

★補助を受けるには借入申込みの前に必要な手続きがございますので、必ず事前  
にご相談下さい。

ご相談・お問い合わせ 函館商工会議所 中小企業相談所  
函館市若松町15-7-61(北洋ビル6階) TEL 23-1181

